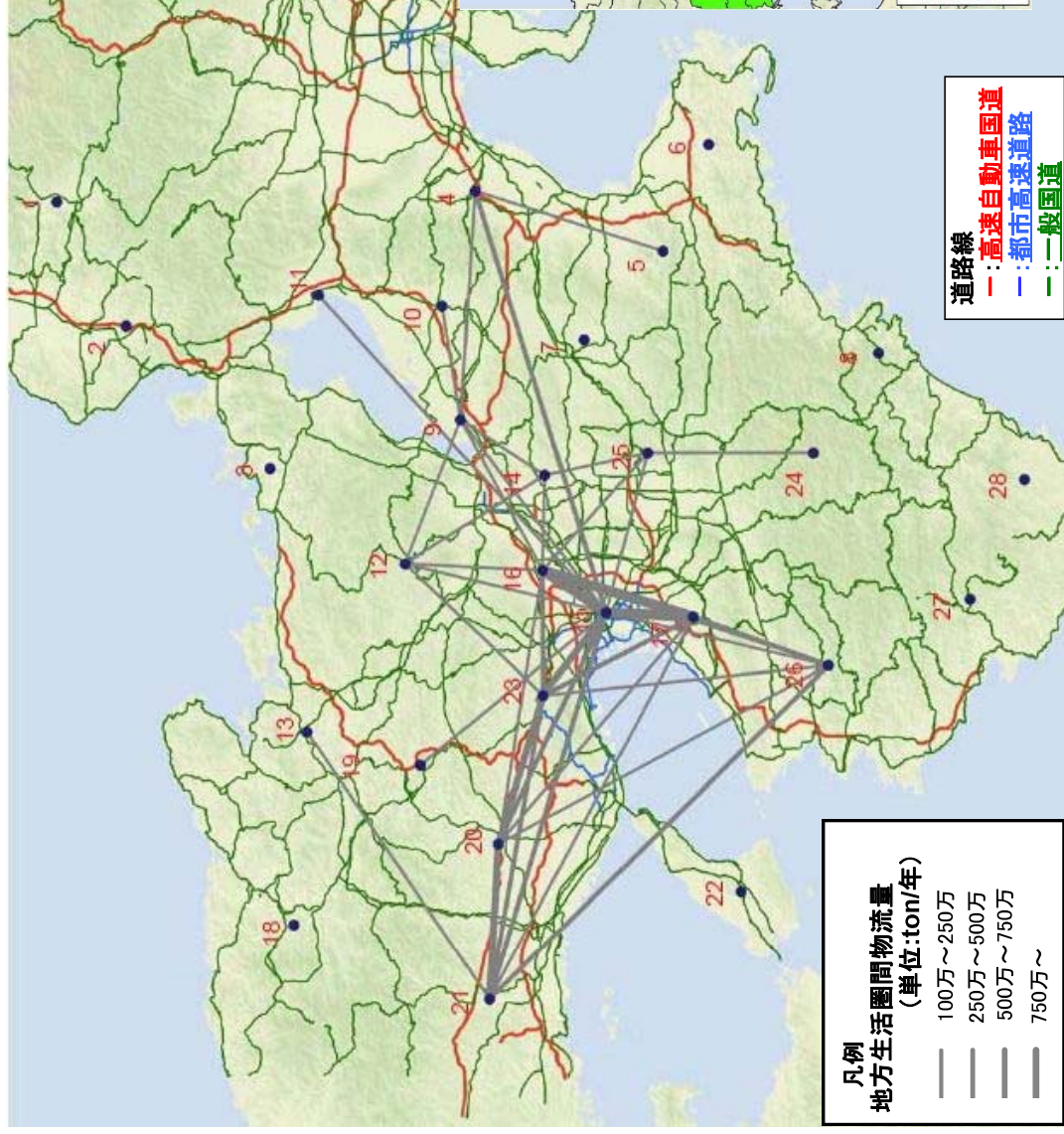


関西における広域的な物の流れ

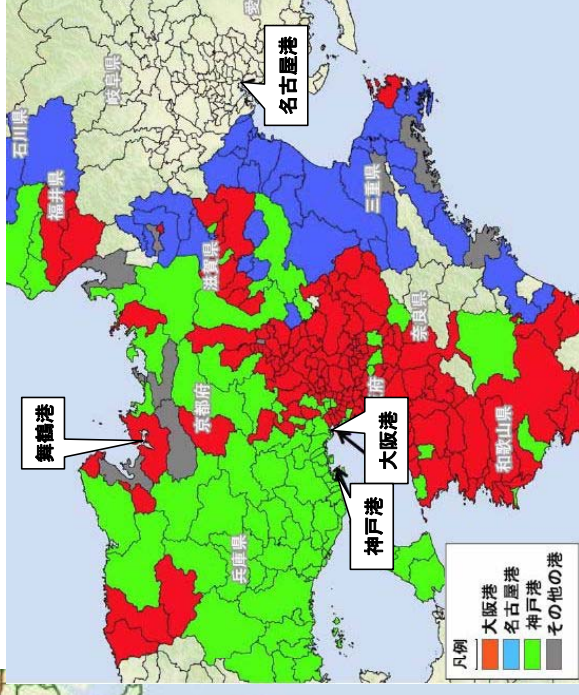
【物の流れ】



資料: 全国貨物純流動調査 (3日間流動調査) 平成17年度調査
査注) 100万ton/年以上の物流量を表示

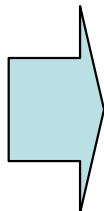
・物流は、大阪・京都・神戸間の流動が中心となっている。

・物流の受皿は、阪神港 (大阪港・神戸港) (参考 外貿コンテナの後背圏)



資料: 全国輸出入コンテナ貨物流動調査 (1ヶ月間流動調査) 平成20年度調査
※各市町村からみて貨物量第1位の港湾を图示

大阪市の都市構造

- ・ 中枢的な業務機能や商業等の賑わい機能が集積する**都心部**（コア(中枢都市)ゾーン)
 - ・ 特色ある産業機能が集積し、業務機能等併せて関西圏の雇用を牽引する
 - ・ **臨海部**：大規模な工場等の集積（新産業創出・誘導ゾーン）
 - ・ **内陸部**：住機能と共存した、オンリーワン企業など特色ある中小企業の集積（生活・産業活性化ゾーン）
- 
- 都心部・臨海部・内陸部が一体となって、雇用と居住環境を確保し、都市圏を牽引する都市を形成**

